

愛知の生態系を守るために

# 生きものを 野外に放さないで!

わたしたちの愛知には、遠い昔から続くかけがえのない生態系があり、その中には地域本来の動物や植物がいます。

しかし、人の活動が地球規模になったことによって、その場所にいるはずのない生きものが運ばれてくるようになりました。

そうした、もともとその地域にいなかったけれど人によって移されてきた生きもの、つまり「移入種」は、地域本来の生きものを食べたり、追いやったりして、生態系を破壊してしまうおそれがあります。外国の生きものはもちろん、本来いるところから人によって移された生きものはすべて移入種です。

愛知県では、「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」により、県内の生態系に著しく悪影響を及ぼすおそれのある移入種29種を公表し、みだりに野外に放すことを禁止しています。

愛知の生態系を守るために、生きものを自然の中に放さないでください。

